



テクニカル・メッセージ

火災防止のためにブレーキペダルの点検をお願いします

ブレーキペダルに錆が発生し、ペダルが戻らない状態となると、ブレーキが引き摺りを起こして過熱し、火災に至ることがあります。火災を防止するためにブレーキペダルの点検を行い、異常がある場合には部品交換など適切な整備を行ってください。特に運転席に乗車の際に泥や雨水等を持ち込む機会の多い使い方や、長期間車両をご使用いただいている場合は、ブレーキペダルの錆が進行している可能性がありますので確実な点検と整備の実施をお願い致します。なお、加速感や力がなくなったと感じた時や、惰行時にブレーキがかかったように感じる時は、ブレーキの戻り不良が発生している可能性があります。このような場合は、速やかに運行を停止し、日野販売会社または整備会社にご連絡ください。

本内容は 2014 年 8 月にも自動車工業会・国土交通省ホームページ等でお知らせをしておりますが、その後も同様な火災事例が発生していることから改めてご案内させていただくものです。

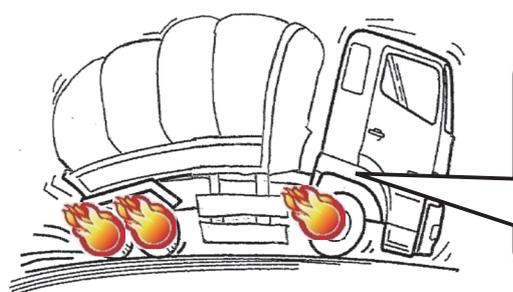
■ 対象車両

大中型トラック・バス全車
 オルガン式ブレーキペダル車（※） 特に長期使用車
 ※足下の床面にブレーキペダルが取り付けられ、
 ペダル下部にシャフト（支点）があるタイプ



<ペダル下部にシャフト（支点）があるタイプ>

■ ブレーキペダルの錆びに起因する事象



ペダル ピボットピンの腐食

ブレーキの引きずり

過熱（火災の原因）

ブレーキペダル各部の錆発生例

			
ペダル周辺	ブラケット回り	ピボットピン	ピボットピン穴部

注) ペダル周辺部に錆が見られる場合は、交換が必要なため、速やかに日野販売会社または整備会社にご連絡ください。

■ ブレーキペダル点検のお願い

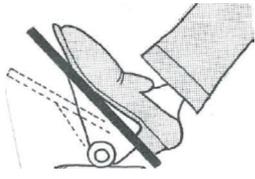
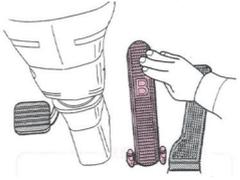
ブレーキペダルに関する法定点検内容を以下に示します。

点検箇所	点検項目	点検整備時期		
		日常点検	3ヶ月 6ヶ月	12ヶ月
ブレーキペダル	遊び及び踏み込んだときのすき間	●	●	●
	ブレーキの効き具合	●	●	●
	ブレーキペダルを踏み込んで離した場合にブレーキ・バルブからの排気音が正常であること。	●	—	—

ブレーキ関係の点検整備方式

これらの整備点検方式の内容に加え、以下に示す点検・整備をお願い致します。

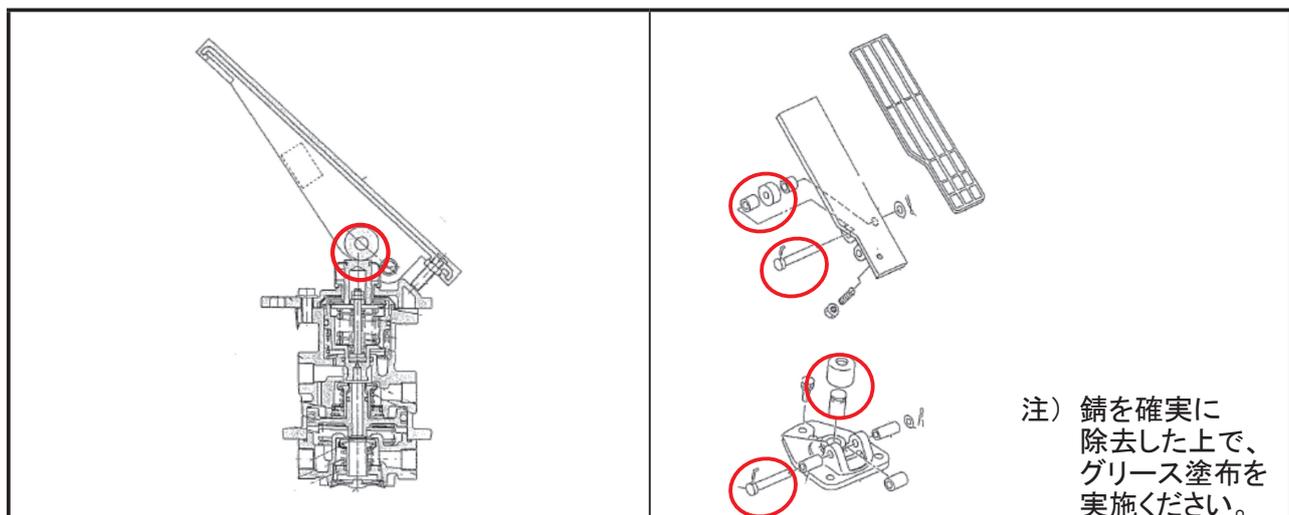
①日常（運行前）点検

ブレーキペダルの戻り点検	
	ブレーキペダルをいっぱい踏み込み、ゆっくり戻した時に、途中でペダルに引っかかりがないことを確認ください。
	更に、ブレーキペダルを手でいっぱい押した後、一気に離した時に、ペダルが元の位置に戻るかを確認ください。

②定期的なペダルの点検のお願い

- ・ペダルのピボットピン（下図参照）へグリースの塗布をお願い致します。

【使用グリース：バリエントグリース S1（昭和シェル石油製）】



- ・泥・砂などの異物の有無やピボットピン部の腐食・渋りが無いかを点検ください。
- ・必要に応じ、関連部品等の交換をお願い致します。

オルガン式ブレーキペダルを使用しているトラックは、全て17年以上経過した車両となります。車検整備時には、当該部の分解整備、グリースの塗布の実施を推奨します。その際は、日野販売会社または整備会社にご相談ください。